

■欧州：欧州委、温室効果ガス削減目標を各国に割り当てる規則案を発表

欧州委員会は 2016 年 7 月 20 日、2030 年に向けた温室効果ガス（GHG）排出削減目標を加盟各国に割り当てる規則（ESR: Effort Sharing Regulation）案を発表した。同規則案では、欧州排出量取引（EU-ETS）の範囲外の部門（運輸、農業、建物、廃棄物など）における GHG 排出を対象に、2030 年までの削減目標が、英国を含む加盟 28 カ国それぞれについて示されている。削減目標は対 2005 年比で 0～40%の範囲内で定められ、国民一人当たり GDP の高い加盟国ほど高い目標値が割り当てられている（最も高いルクセンブルク、スウェーデンで 40%減、最も低いブルガリアで 0%）。また、今回の規則案では、加盟各国が自国の削減目標を達成するに当たり、EU-ETS の排出枠や、土地利用部門からのクレジットなどを一部、利用できるような措置も盛り込まれている。英国の EU 離脱問題の影響で、将来的に修正が必要になる可能性も踏まえた上で、今回、欧州委員会が発表した規則案は今後、欧州議会と閣僚理事会の審議に付されることになる。